

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年2月26日

事業所名 サポートセンターかがやき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指定基準上のスペースは確保できているが、利用人数や状況によっては不足を感じる場合もある。 利用児の調子に合わせて空間を分けて活動するようにしている	時々、もう少しスペースがあればと思う時があるので、空間を上手く活用していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準以上のスタッフが在籍している。出来るだけ1:1で対応出来るようにしている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所内はフラットであり、空間をある程度分けて使用しています。	入口に段差があるが、簡易スロープを用意している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		危険個所にはけが防止の対策を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		研修等でPDCAサイクルについて学びながら、実務に生かしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意向をもとに可能な限り業務改善出来るように今後も務めていきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所のホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価が行われているのか不明
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に全体での研修がある。 週1回、月1回の職員研修を行っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画の見直しを行うことで、よりよい計画策定に努めています。	

適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		専門職による評価を行っている 氷山モデル等を活用して、子供の状況把握に努めている。	今後も子どもの背景に何があるのか、分析しながら、支援していきたい。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援計画に家族支援や地域支援等、項目に応じた内容を記載している。	
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に基づいた支援ができるようにしている	継続して支援を行い、経過やこうすればできた、を見つけられるように支援していく。また、情報共有をその都度行っていく。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフからの意見をもとに作成している	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月、過去の行事と比べながら、なるべく同じにならないよう工夫したり、行事や季節のイベントを取り入れている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		計画の見直しで状況把握し、集団や個別がどのくらい必要か話し合いを行っている。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティング時に活動内容の共有確認を行っている	役割分担をもう少し具体的に決めていき、子供に対し、目があるようにしていきたい。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		必ずではないが、時間があるときに必要な振り返り、情報共有をしている	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用児の記録をとっている。実績へ記入、朝礼での話し合いを行っている。	今後はもう少し個別支援の内容をもとにより具体的な内容・詳細を記載し、今後の対応方法等もかけるといいと思います。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行っており、その都度情報共有や書類に記載してある。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		専門職や児童発達支援管理責任者が参加している	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		母子からの相談等により関係機関と連携し、支援を行っている。	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医ケア児を入園に結び付ける際に園や関係機関と連携を図り、支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		通院時の状況や服薬等を医療機関といった関係機関と連携をはかっている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		園に支援内容や状況の情報共有を行い、移行支援を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		小学校へ見学や情報共有を行っているほか、送迎時にも状況の確認をしている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて外部研修や、児童発達支援センター等と連携を図っている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	地域食堂の開催(月1回)	今までに保育所、子ども園、幼稚園等から参加されたことはないが、希望があれば参加可能である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		管理者・児発管が参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に情報を伝えることや、事業所での共有を行っている。	
保護者への説明書	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングを実施している	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画の説明を行い、サインをもらっている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて自宅、事業所等で面談を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ペアレントトレーニングや、保護者会を開催している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		適宜対応しています。	

責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な会報はないが、LINEを使用して写真を送ったり、情報共有・連絡調整をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きの書庫にてファイルを保管している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		PECS、絵カード等を使用してコミュニケーションをとっている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域食堂の開催(月1回)	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		避難訓練を定期的に行っている	保護者への周知はできていないので、今後は実際の災害を想定し、保護者にも協力をもらいながら、より実践的な訓練を検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を定期的に行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用前に既往歴を確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	利用前にアレルギー等の有無を確認している	今後もアレルギーの利用児が来た際に対応できるよう情報収集を続けていきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月、職員会議で情報共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎月、職員会議で情報共有している。年1回内部研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に書面にて記載がある。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年2月26日

事業所名 サポートセンターかがやき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動の内容によっては不十分さも感じられるが、外部の体育館を利用するなど、スペースを上手く活用できるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		指定基準上の配置を満たしていることや、加配を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			入口が階段であり、必要に応じて設置型のスロープを準備していますが、バリアフリーとなっていない状態にあるため、今後の状況によって検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に話し合いを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご意見があった場合は、事業所内で検討し、速やかに対応できるように努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ内の情報公開ページにてPDF形式により閲覧可能な状態となっています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	未実施	今後の状況を見ながら検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1回、全職員による研修や外部研修に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		全職員にて現状の確認や、支援方針の見直しを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		少しずつコグトレやアセスメントを実施しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		机上の活動屋内外での身体を動かす活動等、利用児が楽しく達成感を感じられるようにプログラム立案している。	全体での話し合いを行ってきているが、内容の具体的な準備、調整が不十分なところがあるので改善していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節ごとの行事を行ったり、日替わり又は、週替わりで利用児が楽しめるようにしている。	活動内容が固定しやすい傾向があるので、工夫しながら、なるべく楽しく参加を促せるように引き続き調整していきます。

## 適切な支援の提供

13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇はイベントを行うといった時期に応じて対応を行っています。	細かい部分の調整ができていないところがあるため、引き続き改善に努めていきます。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの状況を確認しながら、専門職を含む、職員全体で議論しながら、計画書を作成しております。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の活動の内容、利用児に合わせた支援内容の確認や役割分担を行っている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		スタッフ間で情報共有をしたり、翌日の朝礼で話をしています。	その日に振り返りは送迎時間等の都合で出来ない場合もあるため、翌朝の朝礼で情報共有を行っています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援状況については日誌へ記録し、計画見直し等のタイミングで支援の検証や改善を行っています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		計画の見直しの際に学校訪問等を行い、情報収集に努めています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに沿って計画を作成し、子供に応じた支援を行っています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的に管理者又は児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて現場スタッフの同行を行っています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		LINE等を通して保護者との共有を図りつつ、学校とも適宜連携を取っています。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現状において医療的ケア児の受入は行っていない。	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		園の情報や児童発達支援からの情報提供を受けています。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		担会で次の事業所へ過去の情報も含めた共有を行っています。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		外部研修という形で参加することや、必要に応じて連携・助言を受けています。	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		月1回子ども食堂で地域の方や他事業所の子ども達と交流があります。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会には毎回参加しています。	

## 関係機関や保護者との連携

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に保護者様に利用時の様子をお伝えしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		定期的にペアレントトレーニングを開催しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に保護者へ説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話やLINEで相談を受けています。必要があれば面談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ペアトレや保護者会で情報共有を行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ヒヤリハットや苦情を受けたときには報告用紙を作成し、迅速な対応、県への報告等を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		長期休みのスケジュールやイベントがあるときにはLINE等で伝達している	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫に書類を保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもの気持ちを代弁したり、丁寧に聞き取りを行いながら、保護者へ伝えるといった対応を行っています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域食堂に外部の放課後等デイサービスや地域の方が参加されている		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定し、避難訓練を実施しております。	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルは策定されているので、今後は保護者会等で周知していきたいと思っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回程度、避難訓練等を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回以上研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		今まで身体拘束を行ったことはないが、必要があればルールに基づいて対応します。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		利用開始前に保護者より確認している。	

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月、全体会議でヒヤリハット・苦情報告書の内容を共有しています。
--	----	---------------------------	---	--	----------------------------------